

第2学期を終えて

本日で、長かった2学期も無事終了いたしました。

ご家庭における適切な感染症予防対策など、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、規模の縮小、度重なる日程の変更などはあったものの、3年生の修学旅行や1, 2年生の学習旅行及び校内合唱コンクールを含む文化祭の実施など、子どもたちは充実した2学期を送ることができました。本当にありがとうございました。

また、文化祭終了後は、特に3年生を中心に毎日の学習への取り組みにこれまで以上の真剣さが見られるようになってきました。11月、12月は授業を参観する機会も多く、多くの学級の様々な授業を参観してきましたが、いずれの学年・学級でも非常に雰囲気の良い環境の中で授業が進められていますので、保護者の皆様にはどうぞご安心いただきたいと思います。

冬季休業中の過ごし方

～「早寝早起き朝ごはん全国協議会」の調査研究結果から～

現在、ネット依存症など、非常に大きな社会問題となっている子供の生活環境の改善に、社会全体の問題として取り組んでいこうと、文部科学省は同協議会と連携して「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進しています。

同協議会が今年3月に発表した「早寝早起き朝ごはん」の効果に関する調査結果の概要について、ほんの少し抜粋してご紹介します。

結果1

子供の頃「早寝早起き朝ごはん」という規則正しい生活を送っていた人ほど、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。また、年代別にみると、年代が若いほど相関関係が強かった。

結果2

子供の頃朝の活動（朝活）をよく行っていた人ほど、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。また、年代別にみると、30代以下の方が40代以上より相関関係が強く、特に20代以下の朝活をよく行っていた人は資質・能力の高い割合が多かった。

裏面に続く

結果3

子供の頃自然体験や動植物とのかかわりなどの体験活動をよく行っていた人ほど、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。特に 20 代以下については、資質・能力の高い割合が多かった。

結果4

子供の頃の体験活動の質（遊びっぷり、付き合いっぷり、食べっぷり）が高かった人ほど、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。

結果5

子供の頃「早寝早起き朝ごはん」という規則正しい生活を送っていた人ほど、家庭の経済状況に関わらず、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。また、親から生活習慣に関するしつけを受けていた人ほど、家庭の経済状況に関わらず、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられた。

結果6

子供の頃「早寝早起き朝ごはん」という規則正しい生活を送っていて、体験活動をよく行っていた人ほど、家庭の経済状況に関わらず、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。

冬休み期間中、子どもたちにはくれぐれも規則正しい生活を心がけさせ、3学期を元気に迎えさせて欲しいと心から願っております。

3学期は受験期、より一層の緊張感を持ったコロナ対策を

3学期は、3年生にとって非常に重要な受験期となります。これまで以上にコロナウイルス感染予防には敏感にならなければなりません。現段階では小康状態を保っている感染状況ですが、ご承知のとおり諸外国では新たな変異株の猛威にさらされており、いつ我が国がそのような状況になるかは予断を許しません。

3学期も『学校には感染及び濃厚接触の可能性のある人を決して近づけない』を基本姿勢として学校経営を進めてまいりますので、ご理解をお願いします。

保護者の皆様におかれましては、ご家族の皆様とともに、よいお年をお迎え下さい。